

令和3年度事業報告書

1. 総括

当園は、皆様の多大なご協力をいただき、コロナ禍でも最大限の事業を実施し無事終了することができました。

(目的) 大谷保育協会の研修テーマは「そだつ」から「まなぶ」になりました。

子どもたちは日々の生活の中で全力で自在性をもって遊んでいて、その姿から学び得ることは深く果てがありません。

保育者が子どものそだつ姿、まなぶ姿のそれぞれの瞬間に気付けることが大切であり、保育者が「子どもにまなぶ」という姿勢で、子どもの存在が尊いものという視座で自分自身を問い続けていく保育の実践を行う。

(成果) 日常保育の中で子どもの様子、しぐさ、言葉を観察し子どもがその時どんな気持ちか、心持ちか、願いは、に気づき、結果を重視するのではなくプロセスを重視し、子どもが主体的に遊べるように、また、保育士は「子どもにまなぶ」という姿勢で保育を行った。このことを月1回の園内研修で体験活動の事例として資料にまとめ、国立妙高青少年自然の家室井先生にご指導をいただき、考察を深めることで保育士の質の向上につなげた。

(目的) 2006年から幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持ち教育・保育を一体的に行うこと、また保護者が働いている・いないに関わらず利用できる認定こども園を設立できるようになった。この認定こども園は幼児教育施設と児童福祉施設の

2つの機能をもつことから、幼稚園に入園していた子どもも受け入れが可能になる。

その為、園児の増につながることや運営費補助金が増となり安定した運営につながる。当園でも保育者の資格など認定こども園に施設を変える為の準備を行い、最終的に2025年3月までに移行を行う。

(成果) 将来的な運営を見据えて幼保連携型の認定こども園に変更する準備をしている。

これから本格的に変更手続きを進めるが、保育士の教員免許状の更新、職員数の不足など課題も残っている。今後の手続き等については、妙高市、新潟県の指導を仰ぎ、令和5年4月1日より認定こども園に変更すべく準備を進めている。

(目的) ノーベル経済学賞を受賞したシカゴ大学のジェームズ・J・ハックマン

の40年間の追跡調査で、就学前教育を受けた子どもは学力検査の成績が良く、将来生活保護受給者が少なく、逮捕者率が低かったことが分かり、脳科学でも脳の8割は0～3歳、遅くとも5歳頃までに基礎は完成し残りの人生はそれをベースに生きていくということも分かった。このことから、幼児教育の重要性が国際的に議論されるようになった。当園でも一生涯社会で貢献できる人格を育てる為に、幼児期に丁寧な対応、応答的な姿勢、温かい受容を行い子どもが安心した環境の中で「心動かされる体験」や「挑戦的な活動」で『非認知能力』を育て『生きる力』につながる保育を実践する。この力を育てる為には、子どもにいろいろな体験ができる環境を設定し、その時に子どもの心が動いた瞬間や挑戦する姿を保育士が見逃さず見取り、トピックスとして資料を作成し、1ヶ月に1回振り返り学習を行い保育士の質の向上につなげる。

(成果) 当園には0歳児から自然体験活動ができる第二園庭が設置されている。手つかずの自然の中で時として子どもたちにとって都合の良いことばかりではない。デコボコした土の上、手や服が土で汚れる、虫がいる、草がはえている、このような環境の中で子どもたちは最初は不快に思っても、自分で考え、友だちのしていることを真似て、いろいろなことを学んでいる。四季折々に変化していく第二園庭での自然体験活動は「心動かされる体験」や「挑戦的な活動」ができ、「非認知能力」を育て「生きる力」を育ててくれる場所になっている。

(目的) 新型コロナウイルス発生による新しい生活様式で保育を行っている。安心安全に保育を行わなければいけないが、つねに各年齢の発達段階で経験しなければならぬことを整理し、保育内容の充実を図り、コロナ禍で最大限の環境を整えながら保育を進める。

(成果) 新型コロナウイルスが保育園でも発生した。新しい生活様式で保育を進めなければならなかったが、第二園庭での活動はこのような中でも変わらず実践できた。この環境が設置されていることに改めてありがたさを知った。

2. 年間入所人数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	0	8	8	21	23	20	80
5月	1	8	8	21	23	20	81
6月	1	9	8	21	23	20	82

7月	1	9	8	21	23	20	82
8月	1	10	8	21	23	20	83
9月	3	11	9	21	23	20	87
10月	3	11	10	21	23	20	88
11月	3	11	10	21	23	20	88
12月	6	10	9	21	23	20	89
1月	6	10	9	21	23	20	89
2月	6	10	9	21	23	20	89
3月	6	10	9	21	23	20	89

3. 職員研修

内容は別紙1のとおり

4. 行事

内容は別紙2のとおり

5. 避難訓練等

内容は別紙2のとおり

6. 苦情について

2件のご意見をいただきました。

すべて解決済みです。

別紙 1

【園外研修】

月日	内 容	参 加 者	開 催 地
4月27日	新潟県私立保育園・認定こども園連盟 定期総会	笠原 千鶴留	リモート
5月15日	大谷保育協会東北連区 真宗保育研修会	笠原 千鶴留 渡辺 圭子 江口 春菜	リモート
5月19日	特別支援教育研修会 特別支援を要する子どもの理解と支援について	渡辺 圭子 江口 春菜 市村 香名子 佐藤 ひとみ	妙高市
5月21日	乳児担当者意見交換会	江口 春菜	妙高市
6月3日	第1回保育部会	笠原 千鶴留	リモート
6月24日	第56回日本保育協会北信越ブロック保育連絡協議会	笠原 千鶴留	リモート
6月29日	保育部会 「令和3年度第1回保育カタリバ」	笠原 千鶴留	リモート
7月6日	令和3年度上越私立保育園・認定こども園連盟 定期総会	笠原 千鶴留	上越市
8月4日	新潟県保育士等キャリアアップ研修	佐藤 晶子	上越市
8月25日	第2回保育部会	笠原 千鶴留	リモート
8月26日	保育部会 「令和3年度第2回保育カタリバ」	笠原 千鶴留	リモート
9月7日	大谷保育協会高田支部 施設代表者会議	笠原 千鶴留	上越市
9月21日	新潟県保育士等キャリアアップ研修	佐藤 晶子	上越市
11月6日	全国青少年体験活動推進フォーラム	渡辺 圭子 片所 さつき 佐藤 晶子 江口 春菜	妙高市
11月15日	大谷保育協会高田支部 施設代表者会議	笠原 千鶴留	上越市
12月7日	新潟県私立保育園・認定こども園連盟 理事長・園長研修会	笠原 千鶴留	リモート
12月15日	2021年度大谷保育協会高田支部研修会	笠原 千鶴留	上越市

【園内研修】

月	研修名・実施内容等
4	・法人説明、保育士としての心得の勉強会 ・特別支援勉強会
5	・自然教育勉強会 ・自然教育勉強会（親子活動）
6	・自然教育勉強会 ・自然教育勉強会（親子活動） ・救急法講習会
7	・自然教育勉強会 ・音楽指導勉強会
8	・自然教育勉強会 ・歯科保健勉強会
9	・自然教育勉強会
10	・絵本の勉強会 ・音楽指導勉強会
11	・音楽指導勉強会
12	・自然教育勉強会 ・音楽指導勉強会
1	・自然教育勉強会 ・虐待事例の分析と今後に向けて
2	・自然教育勉強会 ・苦情事例の分析と今後に向けて
3	・絵本の勉強会 ・事故記録簿の事例

令和3年度年間事業報告

月	理事会・評議員会	と き わ 保 育 園	保 護 者 会	避難訓練
4月		入園式 茶道教室 英語教室 園外保育 花まつり		避難訓練を知る (火事)
5月		よもぎもちクッキング 田植え 親子でキャンプ よもぎもちクッキング 茶道教室 園外保育 英語教室 内科検診		避難訓練を知る (地震)
6月	監査会 決算 役員選任 規則の改正 評議員会	歯科検診 鼓隊フリー参観 食育教室(5歳児) 茶道教室 英語教室 個別懇談(5歳児) 親子でキャンプ	役員会	避難訓練を知る (火事)
7月		七夕まつり 音楽指導 プール開き 鼓隊発表会		火災発生
8月		食育教室(4歳児) 夏まつり 園外保育 英語教室		地震発生
9月		稲刈り 運動会 園外保育 内科検診		台風と安全
10月		茶道教室 園外保育 食育教室(3歳児) 食育教室(5歳児) 歯科検診 音楽指導		地震発生
11月		別院本堂参拝 音楽指導 幼児音楽フェスティバル参加		不審者に対する 知識
12月		収穫祭 英語教室 音楽指導 もちつき大会		嘔吐処理
1月		作品展・給食参観・クラス懇談会(3・4歳児) 作品展・給食参観・英語教室参観(5歳児) 英語教室 音楽指導		冬の火災発生
2月		豆まき		火災発生
3月	補正予算 次年度予算	ひな祭り 新年度準備会 発表会 お別れ会 卒園式	役員会	火災発生
クッキング・お誕生会・身体測定・避難訓練は毎月実施 英語教室は年6回実施 茶道教室は年3回実施				